

減災対策協議会を設立

2017.5.17

「地域の取組方針」を作成し「逃げ遅れゼロ」/

市町と連携した減災対策協議会を設立

H28 愛南土木事務所地方水防連絡協議会

近年の水害は、頻発化、激甚化



避難の遅れで人的被害が発生



H27.9 鬼怒川決壊(茨城県)

- · 死者²名
- · 孤立救助者 4,262
- · 浸水面積 約40km2



H28.8 小本川(岩手県)

- · 死者9_名
- ・高齢者福祉施設が被災
- ・急激な水位上昇

浮かび上がる課題

- ・避難勧告等を円滑に発令できる体制整備
- ・首長への水位情報の伝達

・水害ハザードマップの認知不足

要配慮者利用施設の避難確保画

・防災情報の住民の理解不足



大規模氾濫から県民の命を守る

県民の命を守るために



毎年、本格的な出水期までに、県地方局建設部・土木事務所単位で、水防関係機関で組織する「地方水防連絡協議会」を開催してきた。

【協議事項】

- ・情報連絡体制・避難対策・水防資器材の補充・応援
- ・重要水防箇所の合同点検

・水防資器材の補充・応援

H28中予地方局建設部地方水防連絡協議会

全国各地で甚大な被害が発生

本県でも大規模氾濫は必ず発生するとの意識改革

減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進

地方 水防連絡 協議会



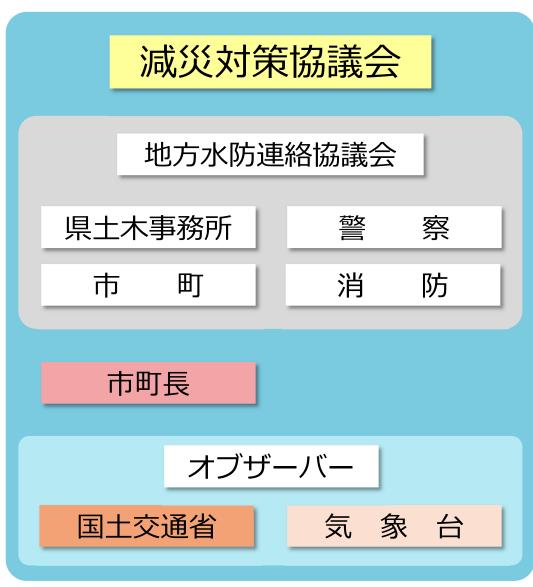
大規模氾濫 に関する 減災対策 協議会

地方水防連絡協議会を拡充し、

「大規模氾濫に関する減災対策協議会」 を設立

減災対策協議会を設立





※地方水防連絡協議会を拡充

「地域の取組方針」を作成

「逃げ遅れゼロ」達成を目標



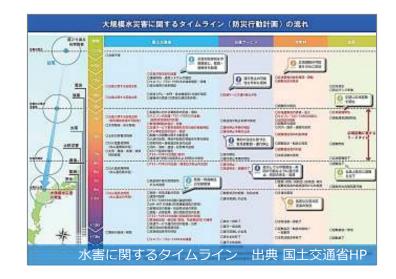
目標達成に向けた取組

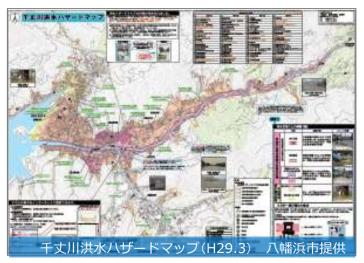
- →情報伝達、避難計画等に関する取組
- → 平時から住民等への周知・教育・ 訓練に関する取組
- → 水防活動の効率化及び水防体制の 強化に関する取組

目標達成に向けて実施する取組



- ■情報伝達、避難計画等に関する取組
 - ■避難勧告に着目したタイムラインの作成
 - ■ホットラインの構築(市町長 ⇔ 事務所長)
 - ■水位周知対象河川の検討
- ■平時から住民等への周知·教育· 訓練に関する取組
 - ■水害ハザードマップ等の防災情報の周知
 - ■要配慮者利用施設への避難計画作成の支援





- ■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
 - ■重要水防箇所の合同点検

地域の取組を深化させるために



- ■平成29年度 「愛媛県市町連携プラン」に位置付け
 - ■重点連携項目【防災・減災対策】
 - ・大規模氾濫に備える避難体制強化



- ■本年出水期までに協議会を設立
 - ■10協議会(3建設部·7土木事務所)
 - ■「地域の取組方針」を作成(H29年度中)
 - ・概ね5年以内に実施する項目
- ■毎年出水期までに協議会を開催
 - ■取組の進捗状況を確認、継続的なフォローアップ

